

## 9 障がいや困ったことがあっても安心して学習できること

### 多様な生徒を受け入れる考え方を浸透させてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がいがあってもなくても、いろいろな人と学び、大人になって社会に出ても差別をする人がいないように高校からいろいろな人と学びたいからです。
- ・困ったことがあっても、相談することが出来ないし、先生に相談しても質問ばかりされるから、ただただ自分が思っていることを言いたいからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・多様性が認められる学校に通いたい。
- ・ジェンダーレスに理解のある学校。
- ・様々な障がいについて考えたり、話し合ったりする時間や授業があったら嬉しいです。

#### 【高等学校・高等部】

- ・自分は違うがもっと不登校などで学校に来れない生徒などがこれて色々な障がいなどを持つてる生徒が登校しやすい多様な学校になってほしい。
- ・人に対しての差別や、障がい者に対して自分と比べ見下す人が多いのでそういう学びが欲しい。
- ・インクルーシブな学校に通いたい。障がいの有無、持病の有無などに関係なく皆が平等に教育を受けられて誰かに何か言われることの無い生きやすい学校。

### 多様な生徒に対応した学習内容にしてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がいを持っている人でも分かりやすく教えてもらえる高校に行きたいから。
- ・私は、集団行動が苦手だし、学校は一人になりたくてもなれないからです。そして、一人だとわかるまで苦手なことに考えることが出来るからです。

#### 【中学校・中学部】

- ・障がい者や健常者に関係なく同じ場所で学習に取り組むインクルーシブ教育を実現して普通高校と特別支援学校を選択できるようにする枠組みを作るべきだと思う。
- ・少ない人数の高校で学習したい。いじめなどで不登校しがちで、出席日数が不安だし、学習も追いついて行けてないから、支援してくれる高校がいい。

#### 【高等学校・高等部】

- ・先生が手話を使って会話をしてくれるので気持ち的にも楽ではある。
- ・障がい者が安心して学習できる学校がもう少し増えてもいいと思う。都会の方でなく田舎の方に特にあればいいかなと感じる。
- ・病気など様々な理由で学校に行くことの難しい人たち1人1人に合わせた学校が出来ればいいな。また、不登校と呼ぶのではなくホームスタディなど名前を変えてほしい。

### 多様な生徒に対応した設備を整えてほしい

#### 【小学校・小学部】

- ・障がい者でも一般人でも使いやすい設備を導入してほしい。
- ・支援学級みたいに少ない人数で勉強したいです。バリアフリーの学校が良いです。車椅子で通える学校が良いです。
- ・自分では勇気を出して話せない人のためについてのことでポストとかが作ってほしい。

#### 【中学校・中学部】

- ・視覚障がいの私が学習しやすい高校。
- ・トランスジェンダーに優しい高校に通いたい。(中性的な制服が欲しい。)

#### 【高等学校・高等部】

- ・障がい者でも誰もが暮らしやすく設備が整っている学校がいい。また、これからの社会に適応しバリアフリーでもあり誰もが学校に来やすい学校であってほしい。

### 県教育委員会からのコメント

#### 県立高校の現在の姿

- 特別支援学校だけでなく、高校などでも、教育上特別な支援が必要な児童生徒が増えています。
- 学校は、みんながお互いに個性を尊重して、支え合い、認め合える全員参加の社会づくりで、重要な役割を果たすことが求められています。
- 国の調査結果では、全ての通常の学級に、教育上特別な支援が必要な生徒がいる可能性があることが明らかになっています。
- 県内では、特別支援学級にいた生徒や通級をしていた生徒のうち、3人に1人は県内の全日制県立高校に進学しています。
- 県内の全日制県立高校では、5校で「通級による指導」を行っています。
- 最近では、県内のほぼ全ての公立高校に不登校の生徒がいて、不登校のきっかけと考えられる原因は様々です。
- 高校と特別支援学校が連携して、不登校や教育上特別な支援が必要な生徒それぞれに対応した支援が必要です。

#### 県立高校の将来の姿

- 高校と特別支援学校の連携を深め、不登校や教育上特別な支援が必要な生徒への対応や、よりインクルーシブな教育について考えていきます。  
「インクルーシブな教育」とは、障がいのある者と障がいのない者が一緒に学ぶ仕組みのことです。
- 不登校の生徒に配慮した学習については、国や他の県の取組に注意しながら、遠隔教育などで支援します。